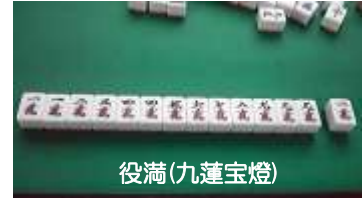


ぶらっとサロン通信 令和 2 年 8 月号



報告:有楽斎

毎週火曜日の午後 1 時過ぎから午後 4 時半ごろまで、朝日 2 丁目集会所で「健康麻雀ミーティング」をワイワイガヤガヤとやっていたのですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、3 月 10 日から自粛し**現在休局中**です。

今号でも、前号(8 月増刊号)に続き、**変わり葉及び斑入り葉の椿を何種類かご案内します。**



桐葉椿 (ひいらぎばつばき)
変わり葉の椿です。葉は肉厚で縁に粗い鋸歯があります



金魚葉椿 (きんぎょばつばき)
変わり葉の椿です。葉の先が金魚の尾ひれに似ています



鋸葉椿 (のこぎりばつばき)
変わり葉の椿です。葉の幅が広く、葉質が薄く、鋸歯が細かい



弁天神楽 (べんてんかぐら)
貴重な江戸古品の斑入ツバキ。葉は白覆輪くすれで乱れ葉になり、いわゆる乱れ弁天葉(京都二条城では「七福神弁天」の名れがついている)



多福弁天 (たふくべんてん)
江戸時代から受け継がれてきた貴重な代表的斑入ツバキ。葉は地味柄だが特殊な斑である貴重品種



錦葉覆輪一休 (にしきばふくりん いっきゅう)
黄覆輪のツバキ。派手な三光斑である。江戸古品種の黄緑覆輪のツバキ「覆輪一休」の枝変り



正義 (まさよし) = ドンケラー
Camellia japonica
'Donckelarii' (Masayoshi)
濃紅色地 大小の白斑入り
八重 蓮華咲き 筒しべ 大輪

知ってる!? 世界に広がるツバキ熱

ヨーロッパにツバキが伝わったのは 17 世紀。ポルトガルには当時、日本から伝わったとされる古木も現存しています。ヨーロッパには冬に豪華な花を咲かせる花木は少なく、ツバキはいわば「ウインターローズ」として、人気を博し、1820~50 年代には社交界でツバキ熱が高まり、各地で展示会が開催されました。**1832 年にシーボルトが持ち帰った正義(まさよし)はドンケラーと名づけられ、そこから数多くの品種が誕生。**戦後になって、洋種ツバキとしてアメリカ経由で日本に里帰りし、新たなブームを起こしました。育種はオーストラリア、ニュージーランドでも進み、最近では中国、台湾でも盛んになっています。 NHK 趣味の園芸 2020 年 1 月号より転載